

イエス様の方法（マルコ 3:13-19）

これまで見て来たように、イエス様に対する人々の反応は、既存の価値基準によるもので、いのちとはまったく関係のないものでした。悪霊を追い出されたのは、イエスがキリストだというしるしだったのですが、人々はより強い悪霊につかわれているのだと言い、親族は、イエス様を止めようとしてきました。イエス様に従う人々も、肉的なごりやくばかりを求めていました。その中で、イエス様は弟子たちを召されました。

神様は、救いに定めたたましいを必ず救われるお方で、その方法は弟子（教会）です。神様は主権者であり、神の力で救われるので、弟子がなくても神様はおできになります。しかし、神様の方法は、弟子を呼んで救いに定めた人を救おうとされるのです。

1. イエス様はご自身のお望みの人々を弟子として召された。

1) 神様のお選び（恵み）

だれが弟子として選ばれるのか、根拠や条件は人間的なこととは関係ありません。

2) 正しい信仰告白（イエスはキリスト）

弟子は、イエスをキリストと正しい信仰告白するようになります。それが、神様に選ばれた人だという証拠です。弟子は、イエス様は神から離れ、さまよっている自分を神様に会わせてくださる方であり、罪により地獄に行く運命にいる自分を罪から救い出し永遠に解放してくださる方で、生まれながら悪魔の奴隷であった私を悪魔の手から救い出してくださる方、つまりイエスをキリストだと心から告白します。

3) その結果（ガラテヤ 2:20、ローマ 8:2、1コリント 3:16）

イエスをキリストと告白した結果、私の中にキリストが生きておられるようになり、自分や環境が変わらなくても、死と罪の原理に捕らわれ、滅びる者だったのに、完全に解放され、すべての問題が終わります。そして、内に聖霊を通して三位一体の神様

が住まわれるようになります。まことの神様が、ともに永遠におられるようになるのです。古いものは過ぎ去り、すべてが新しくなります。

イエス様は、弟子を召して、このようにされたことを、みことばをもって教えてください。

2. イエス様は弟子たちに“共に“を味わわせて、勝利させる。

そして、「身近に置き」と言われているように、イエス様は、聖霊を通して内におられます。神様が内におられる「ともに」を味わわせてくださるのです。そうすれば、勝利についてきます。あるから味わうのです。

1) 内側の変化（個人の御座化-癒し）

味わうと、弟子の内側が変わります。ともにおられ、存在はすでに変わっているのですが、考え、心、脳細胞、刻印が昔のままなのです。それが変わることが用いられるプロセスです。いままでの刻印が「ともに」にそまっていくことを「御座化」と言います。考え、心、脳細胞、そして、たましいまで、御座が入って、「御座化」されるべきです。キリスト以前に入っていたことが放り出されることを「いやし」と言います。弟子を召して、最初にされるのは、みことを啓示され、考え、心、たましいに刻印させてくださいます。みことばを聞いて頭の中にだけ入れるのではなく、啓示として刻印されるようにしましょう。信じれば良いのです。三位一体の神様が具体的、実際に啓示として現れるように祈りましょう。そうすれば、自分が光のやぐらだと気づきます。いのちの光を放つ者であり、そのために仕事をしていると分かるようになります。私の力でできないので、上からの力を求め、主がともにおられることが実際に現れるようになります。そして、礼拝をさげていると、職場、家庭、勉強に時空を超越する働きが起こっていることがわかります。

そのために、まず、味わいましょう。

2) 絶対の霊的状态（安心、幸福、満足）

そうすれば、過去がどうでも、いま問題があっても、絶対の安心と幸せと満足が与えられます。なにがあっても大丈夫になります。

3) 現実への対応（神のご計画-超越と空前絶後）

その約束を持って現実に対応します。神様の計画を大前提にして、フォーカスを合わせると、現実を超越して、空前絶後の神様の力が現れ、証拠が現れて証人となります。

4) 使徒 1:7-8、14

そして、「あなたがたは知らなくても良い」と言われたこと、「聖霊が臨まれること」を覚え、祈りに専念します。そのように祈りが定時化され、繰り返すことで日常化、集中化になります。このように祈りが自然になることがシステムです。

3. イエス様は弟子たちに福音を宣べさせる。

弟子を呼んで世界を変えられるイエス様にアーメンと言って、内におられることをポイントに置いて味わい、祈り続け、失敗や古い習性、悪魔の邪魔があっても、信仰を持って、そのために十字架にかかれたことを確認して、味わうのです。

1) 人を見る目が変わる

そうすると、人を見る目が変わります。神様から離れている人、世の中が見えます。

2) 縛られているから、騙されているから、答えがないから

私はそこから解放されたので、その身分をもってあかしするのです。

3) キリストの証人として

ともにおられる私がここにいると祈る「やぐら」です。

4. イエス様は弟子たちに悪霊を追い出す権威を持たせる。

弟子を呼んで世界を変えるために権威を与えられました。

1) エペソ 2:2、6:13

世界、社会を支配しているものに勝てる権威を与えられました。

2) ヨハネ 8:44、Ⅱコリント 4:4、Ⅱコリント 11:14

悪魔は弟子を攻撃してだまします。しかし、それにだまされずに勝利する権威があります。

3) マルコ 16:17、Ⅱコリント 5:20、1ペテロ 2:9

弟子を光を照らす者、いのちの水が流れ出し、生かす者として現場に派遣されます。

なぜイエス様を信じているのかを点検しましょう。本当にキリストとして信じているのでしょうか。信仰告白が間違いないなら、自分は選ばれた弟子であり、イエス様の方法である確信と自負を持ちましょう。

「現場に教会として、現場が教会に」を課題にして、3、9、3が自分の内側に働くイメージとともに祈りましょう。

1部-マルコ 3:13-19 イエス様の方法

なるほど/ イエス様の救いの方法は弟子（教会）であり、弟子を祝福して、証人として立て、霊的勝利を与えられる。

ならば/ 自分が弟子であることを確認し確信して、自分自身がイエス様の救いの方法であることを覚えて感謝し、聖霊充滿を祈ろう。

2部-イザヤ 6:13 残す人生

なるほど/ 祈りの中でキリストの勝利の旗を立てて霊的勝利を味わい、サタンの妨害の前で信仰を選択して霊的勝利を味わうと、この祝福がRTに伝えられ、未来を征服することになる。

ならば/ 定刻祈り、常時祈り、集中祈りを理解して挑戦しよう。